

Panasonic

マルチメディア授業支援システム

システムソフト

学習者用操作マニュアル

品番 WE-AS860

もくじ

はじめに	3
第1章 操作方法	7
第2章 STRパネルの操作方法	20
付録	38
索引	41

本書で説明するソフトウェアは、使用許諾契約書に基づいて提供され、その内容に同意する場合にのみ使用することができます。

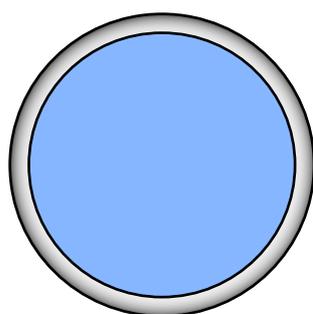
本書に記載された内容は、情報の提供のみを目的としており、予告なしに変更されることがあります。また、本書には正確な情報を記載するように努めましたが、誤りや不正確な記述があった場合にも、松下電器産業株式会社（Matsushita Electric Industrial Co.,Ltd）はいかなる責任、責務も負わないものとします。

=====

© 2003 Matsushita Electric Industrial Co.,Ltd. All Rights Reserved.

本書の著作権は、松下電器産業株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部を許可なく複製・複写することを禁じます。

- L3 Stageは、松下電器産業株式会社の商標です。
- AdobeおよびAcrobat Readerは、Adobe Systems Incorporatedの商標です。
- Microsoft、WindowsおよびWindowsロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。



はじめに

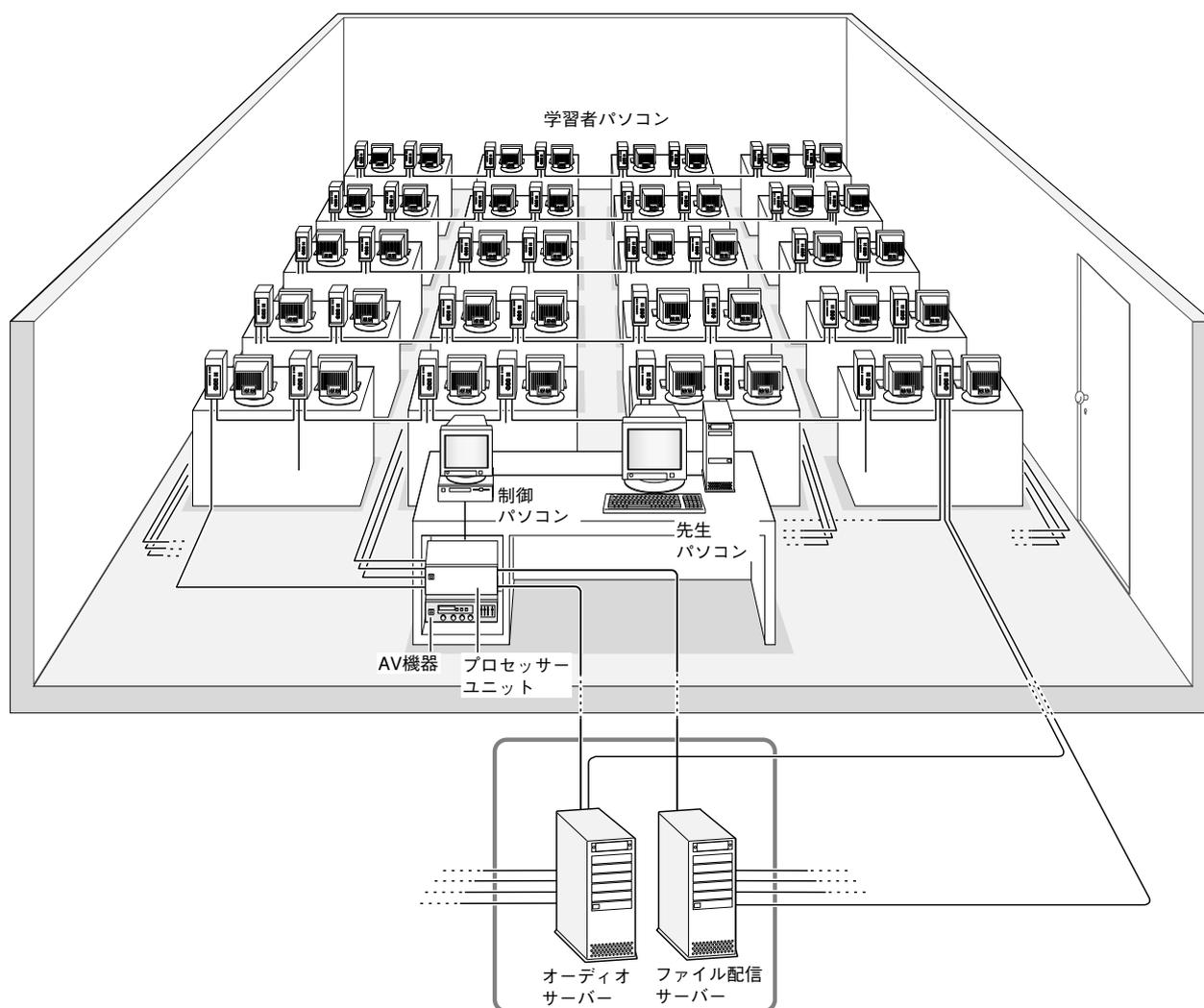
もくじ

商品概要	4
本書について	5
本書で使用する用語について	5
略称について	6

商品概要

本ソフトは、学内パソコン教室、LAN環境においてパソコンを最大限に活かした語学学習、情報リテラシーの学習をサポートするための授業支援ソフトです。

学習者の出席確認から会話練習、教材を使った授業、テスト形式の授業などをタッチパネルによる簡単な操作で行うことができます。



(イメージ図)

本書について

本書は学習者パソコンの操作説明書です。本システムでは授業を行う前に、運用のための設定や各パソコンへのシステムソフトのインストールなど、各種設定が必要になります。各種設定の操作方法については、別冊のシステムソフト取扱説明書をお読みください。

本書で使用している用語について

オーディオサーバー	: 音声教材、アナライザー教材などを登録しておくサーバーです。
ファイル配信サーバー	: ファイルの配布や回収を行うサーバーです。 また、WBT型教材も登録します。
プロセッサユニット	: AV機器からの教材送出や音声コミュニケーションを行うためのユニットです。
制御パソコン	: 制御用のソフトがインストールされたパーソナルコンピュータです。先生が使用します。
先生パソコン	: 先生用のソフトがインストールされたパーソナルコンピュータです。先生が使用します。
補助制御パソコン	: 補助制御用のソフトがインストールされたパーソナルコンピュータです。チームティーチングモードで、サブチームの先生が使用します。
学習者パソコン	: 学習者用のソフトがインストールされたパーソナルコンピュータです。学習者が使用します。
スチューデントユニット	: 学習者用の音声入出力ユニットです。ヘッドセットの音量調節などを行います。
サブモニター	: 学習者に教材映像を見せるために設置したモニターです。
サーバー音声教材	: 一斉送出、オンデマンド開放で利用できる音声教材です。
WBT型教材	: 音声に静止画、テキスト、問題設問などを加えたWeb利用の教材です。オンデマンド開放で、Webブラウザを使って閲覧することができます。
アナライザー教材	: アナライザー自動進行用の音声教材です。問題の選択肢数、正答番号、回答時間などが設定できます。
サーバー教材	: 上記3種類の教材の総称です。
MTR教材	: マスターテープレコーダーで再生する教材です。
STRパネル	: Student Tape Recorderの略です。学習者パソコンで音声教材などの操作を行います。

- PRAC : STRパネルの機能の1つで、Practiceの略です。教材に自分の音声を重ねて録音し、比較練習などを行えます。
- PRL : STRパネルの機能の1つで、Paragraph Repeat Listenの略です。教材の任意の区間を繰り返し再生します。

略称について

Microsoft® Windows® 95日本語版、Microsoft® Windows® 98 日本語版、Microsoft® Windows® Millennium Edition 日本語版、Microsoft® Windows NT® Version4.0日本語版、Microsoft® Windows® 2000日本語版のすべてに関する説明を記載している個所では、これらをまとめてWindowsと表記しています。



操作方法

ここでは、起動のしかた、本ソフトの基本的な操作方法について説明します。

もくじ

起動する	8
状態表示について	10
学習者状態表示一覧（ランチャーパネルに表示）	10
ランチャーパネルの使いかた	12
STRパネルを表示する	12
レポートフォルダーを表示する	13
操作マニュアルを表示する	14
アプリケーションを起動する	15
フォルダーボタンの使いかた	16
MS-IMEツールバーを表示する	17
Windows画面に移る	18
終了する	19
先生の操作によって終了する	19
OFFボタンを使用する	19

起動する

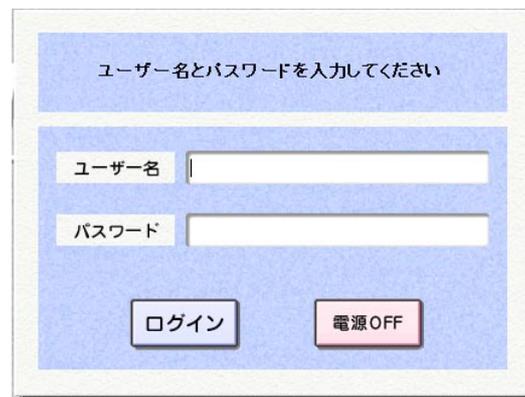
学習者パソコンは、他の全ての機器を起動してから、必ず最後に起動します。

1. 他の全ての機器が起動されていることを確認します（先生が行ってください）。

- ① 教室のプレーカーを入れます。
- ② 周辺機器（接続しているHUBやAV機器など）の電源を入れます。
※HUBの電源は、必ずサーバーより先に入れてください。
- ③ オーディオサーバー、ファイル配信サーバーを起動します。サーバーの電源を入れて、パスワードを入力し、サーバーを起動します（画面の指示に従ってください）。
- ④ プロセッサユニットの電源を入れます。
- ⑤ 制御パソコンの電源を入れ、授業画面を表示します。
- ⑥ 先生パソコンの電源を入れます。
- ⑦ 補助制御パソコンの電源を入れます。

2. 学習者パソコンの電源を入れ、デスクトップ画面の [L3 Stage] アイコン  をダブルクリックします。

→学習者ソフトが起動すると、学習者パソコンに認証入力パネルが表示されます。



ユーザー名とパスワードを入力してください

ユーザー名

パスワード

ログイン 電源OFF

3. ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン] ボタンを押します。

→ランチャーパネルが表示されます。



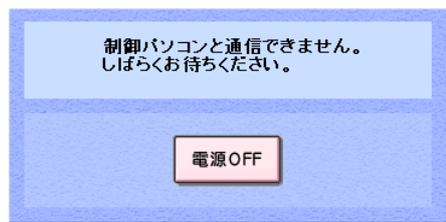
オープンルームを運用中の場合は、自動的にオンデマンド学習が始まります。

📎 認証入力パネルについて 📎

設定によっては、認証入力パネルは表示されずにランチャーパネルが表示されます。

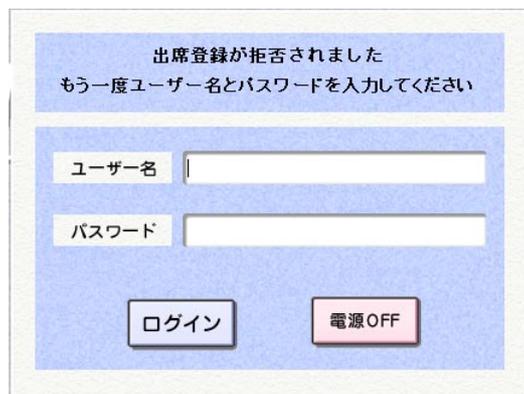
📎 制御パソコンが起動していない場合 📎

制御パソコン不在パネルが表示されます。制御パソコンが起動されると、自動的に認証入力パネルが表示されます。

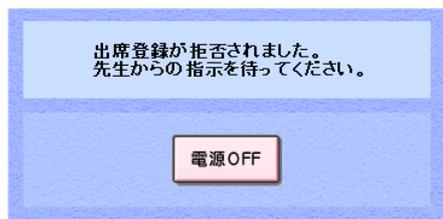


📎 ユーザー名またはパスワードを間違えると 📎

ユーザー名またはパスワードを間違えると、次の画面が表示され、3回まで再入力できます。正しいユーザー名とパスワードを入力し直してください。



4回間違えると認証が拒否されます。先生からの指示を待ってください。



状態表示について

先生が行う制御パソコンの操作によって、学習者パソコンのランチャーパネルにそのときの状態説明が表示されます。



学習者状態表示一覧（ランチャーパネルに表示）

- オールコール : 先生の声が聞こえます。マウス・キーボードロックがかかり、パソコンの操作はできません。
学習者が録音や再生を実行していた場合は、中止されます。
- インカム : 先生と相互に通話ができます。他の学習者も同時に指定されている場合は、その学習者とも相互に通話ができます。
- モデル(トーカー) : 先生と相互に通話ができ、その内容が他の学習者にも流れます。他の学習者も同時に指定されている場合は、指定されている学習者全員の声が他の学習者に流れます。
- モデル(リスナー) : 先生と、先生に指定された学習者の声が聞こえます。STRパネルとランチャーパネルの操作は、[コール] ボタン以外できません。
- コールレスポンス : コールに対して先生が応答し、先生と相互に通話できます。
- 教材受信開始 : 先生から教材が送られ、教材音声が聞こえます。STRパネルの一部は操作できません。
- 教材録音開始 : 先生から送られている教材が自動的に録音されています。STRパネルは操作できません。
- サーバー教材開放開始 : 開放された教材を自分で選択し、STRパネルを使用して学習できます。
- ファイル受信 : 先生からファイルが配布されています。再生や録音を実行している場合は、中止されます。STRパネルとランチャーパネルは操作できません。
- ファイル送信中 : 先生がファイルを回収しています。再生や録音を実行している場合は、中止されます。STRパネルとランチャーパネルは操作できません。
- 会話練習開始 : 先生から指定された相手と相互に通話ができます。
- 発言者 : ディスカッションモードで、他の発言者や先生と相互に通話ができ、その内容が他の学習者に流れます。

- リスナー : ディスカッションモードで、発言者になった学習者の声や先生の声が聞こえます。STRパネルとランチャーパネルの操作は、[コール] ボタン以外できません。
- STRパネルロック : STRパネルの操作はできません。
- ランチャーパネルロック : ランチャーパネルの操作は、[STR] ボタンと [コール] ボタン以外できません。
- マウスキーボードロック : パソコンの操作はできません。
- アナライザー : アナライザーモードに入り、回答パネルが表示されます。
- 回答受付開始 : 回答パネルの各回答ボタンをクリックすると、先生にその番号が通知されます。
- 回答締切 : 回答パネルの各回答ボタンが押せなくなります。
- リスタート中 : 行った操作がキャンセルされ、授業開始直後の状態に戻ります。
- T.T.開始 (メイン) : チームティーチングモードに入ります。メインチームに所属します。
- T.T.開始 (サブ) : チームティーチングモードに入ります。サブチームに所属します。
- チームコール : チームティーチングで自分のチームの先生の声が聞こえます。マウス・キーボードロックがかかり、パソコンの操作はできません。学習者が録音や再生を実行していた場合は、中止されます。

注意

状態表示は、制御パソコンまたは補助制御パソコン側で他の操作が行われると上書きされます。

操作がキャンセルされて、元の状態が継続していても、表示は元に戻りません。

ランチャーパネルの使いかた

ここでは、ランチャーパネルで行う機能の内容とその操作方法について説明します。

STRパネルを表示する

音声教材を使った授業に関する基本操作は、このSTRパネルで行います。ここではSTRパネルの表示のしかたについて説明します。STRパネルの詳細は「[STRパネルの操作方法](#)」をお読みください。

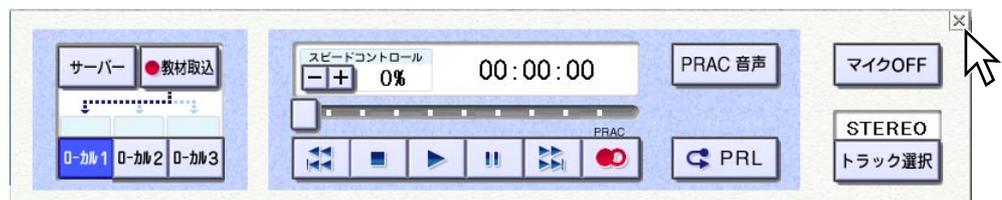
1. アプリケーションの [STR] ボタンをクリックします。



→STRパネルが画面の下側に表示されます。音声教材に関する操作は主にこのSTRパネルで行います。



2. STRパネルを閉じるときは、[×] ボタン（閉じるボタン）をクリックします。



注意

先生から教材が送られてきたり、オンデマンドで教材が開放されると、STRパネルは、自動的に表示されます。

レポートフォルダーを表示する

レポートフォルダーには、先生に提出するファイルを保存します。また、先生から配布されたファイルやフォルダーも保存されます。

1. アプリケーションの [レポート] ボタンをクリックします。



→レポートフォルダーが表示されます。先生から配布されたファイルを開いたり、ファイルのコピーや移動ができます。

2. レポートフォルダーを終了する場合は、Windowsエクスプローラーの終了操作を行ってください。

操作マニュアルを表示する

本マニュアルを表示します。

ⓘ 注意 ⓘ

学習者パソコンに、Acrobat Readerがインストールされている必要があります。

1. アプリケーションの [マニュアル] ボタンをクリックします。



→Acrobat Readerが起動し、本マニュアルが表示されます。

2. マニュアルを閉じるときは、Acrobat Readerを終了します。

アプリケーションを起動する

Windowsの各種アプリケーションを起動します。

1. 起動したいアプリケーションのアプリケーションボタンをクリックします。



→それぞれのアプリケーションが起動します。

2. アプリケーションを終了するときは、それぞれのアプリケーションで終了の操作をします。

📎起動したいアプリケーションのボタンが表示されていないときは📎

[前] ボタンまたは [次] ボタンをクリックし、ページを切り換えます。

フォルダーボタンの使いかた

次の4つのフォルダーをボタン1つで表示することができます。



[FDドライブフォルダー] ボタン 

: クリックすると、フロッピーディスクドライブに保存されているファイルやフォルダーが表示されます。クリックする前にフロッピーディスクドライブにフロッピーディスクを入れてください。

[Cドライブフォルダー] ボタン 

: クリックすると、学習者パソコンの作業用に割り当てられているハードディスク内のファイルやフォルダーが表示されます。

[CD-ROMドライブフォルダー] ボタン 

: クリックすると、CD-ROMに保存されているファイルやフォルダーが表示されます。クリックする前にCD-ROMドライブにCD-ROMを入れてください。

[ごみ箱フォルダー] ボタン 

: クリックすると、ごみ箱に入っているファイルやフォルダーが表示されます。

MS-IMEツールバーを表示する

キーボードの日本語入力モードを切り換えるMS-IMEツールバーを表示します。

1. MS-IMEツールバーが表示されていないときは [ON] ボタンをクリックします。



→画面右下にMS-IMEツールバーが表示されます。



⚠️注意⚠️

- MS-IMEツールバーは、アプリケーションソフトの起動時に自動的に表示される場合もあります。また、MS-IMEツールバーをタスクバーに入れる設定にしている場合は、上記の操作では表示できません。
- MS-IMEツールバーを移動するには、下図のボタンをマウス左ボタンでドラッグしてください。



Windows画面に移る

本ソフトを終了し、Windowsのデスクトップ画面に移ります。
また、授業中は、このボタンは使用できません。

1. [Windowsへ] ボタンをクリックします。



→本ソフトを終了し、Windowsのデスクトップ画面に移ります。

⚠️注意⚠️

Windows画面から本ソフトを起動するには、デスクトップ画面の [L3 Stage] ア

イコン  をダブルクリックします。

終了する

本ソフトの終了方法は、設定によって、下記のように異なります。

先生の操作によって終了する

先生が授業終了の操作を行うと、学習者パソコンも下記の3通りの方法で連動します。

① 認証入力パネルが表示される場合

[電源OFF] ボタンをクリックします。

→学習者パソコンの電源がOFFになります。

② Windows画面に戻る場合

Windows終了操作を行います。

→学習者パソコンの電源がOFFになります。

③ 電源OFFされる場合

何も操作しなくても、学習者パソコンの電源がOFFになります。

⚠注意⚠

パソコンの機種によって、Windowsの終了処理が通常よりも時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。そのまましばらくお待ちください。

OFFボタンを使用する

先生が不在のときに自習で使用していた場合や、オープンルームでの学習を終了する場合は、以下の方法で操作します。

1. [OFF] ボタンをクリックします。



→本ソフトが終了し、学習者パソコンの電源がOFFになります。



第2章

STRパネルの 操作方法

ここでは、STRパネルを使って行う機能の操作方法について説明します。

もくじ

教材を聞く	21
教材を録音する	21
再生する録音教材を選択する	23
教材の再生トラックを選択する	24
教材を再生する	25
教材を繰り返し再生する	27
録音教材に重ねて自分の声を録音し、比較学習する	29
オンデマンド学習（自習）を行う	31
サーバー音声教材、アナライザー教材を 選択し再生する	31
サーバー音声教材、アナライザー教材を録音する	34
WBT型教材を使う	35
アナライザーモード時の操作のしかた	37

教材を聞く

ここでは、先生から送られてきた教材の録音・再生のしかたについて説明します。

教材を録音する

先生から送られてきた教材をローカルフォルダーに録音します。録音用の領域はローカル1、ローカル2、ローカル3の3つがあります。録音先はローカル1→ローカル2→ローカル3の順番に録音され、4件目からはまたローカル1→ローカル2→ローカル3・・・と古い順に上書きして録音されます。

1. 先生から教材が送られてきたら [教材取込] ボタンをクリックします。



→ [ローカル1] / [ローカル2] / [ローカル3] のいずれかに録音されます。
録音される場所は、[教材取込] ボタンの下に破線矢印が表示されているローカルフォルダーになります。

2. 録音を途中で止めたい場合は、[STOP] ボタンをクリックします。



→録音が終了します。録音されたローカルフォルダーの上に録音時間が表示されま
す。

🔒先生からの操作により、教材を録音しているときは🔒

自動的に録音が始まります。録音終了の操作も先生からの操作になります。一斉録音中は、学習者にSTRパネルロックがかかります。

🔒自分の声だけを録音するには🔒

教材が送出されていないときに [教材取込] ボタンをクリックして、マイクに向かって話をします。

教材再生中に自分のヘッドセットのマイクがひろう音声が悪魔なときは、[マイクOFF] ボタンをクリックしてください。マイクから入る音声がヘッドセットから聞こえなくなります。



🔒会話の声を取り込みたいときは🔒

教材の録音と同じように、先生との会話中や学習者との会話練習中に、会話を録音することもできます。会話中に [教材取込] ボタンをクリックします。この場合、自分の声も合わせて録音されます。

再生する録音教材を選択する

[再生] ボタンをクリックしたときに再生される教材を選択します。教材の選択はローカルフォルダーを選択して行います。

1. 再生したい教材が録音されているローカルフォルダーボタンをクリックします。



→ローカルフォルダーボタンをクリックすると、ボタンがON状態になります。

[PLAY] ボタンをクリックすると、選択した録音教材が再生されます。

教材の再生トラックを選択する

教材が送出されているときや録音教材を再生するときに、再生するトラックを選択します。

1. [トラック選択] ボタンをクリックします。



[トラック選択] ボタンをクリックするたびに、再生トラックがSTEREO→L→R→MONOの順に切り換わります。

- | | |
|--------|-------------------------------|
| STEREO | : ステレオ再生します |
| L | : Lchの音声を両耳に再生します。 |
| R | : Rchの音声を両耳に再生します。 |
| MONO | : LchとRchの音声をミキシングして両耳に再生します。 |

📌注意📌

- トラック選択は再生教材がステレオで録音されている場合のみ有効です。また、ステレオ録音された教材を先生がトラック選択して、L、R、モノラルで送出している場合、トラック選択欄の表示と異なる状態で聞こえることがあります。
- スピードコントロールでスピードを0%以外に変更した時は、[トラック選択] ボタンによる変更はできません。

教材を再生する

録音した教材を再生します。

重要

再生の操作をする前に、再生したい教材を選択しておく必要があります。選択のしかたは「再生する録音教材を選択する」をお読みください。

1. [PLAY] ボタンをクリックします。



→再生が開始します。カウンターに再生時間が表示されます。

2. 再生を終了するときは [STOP] ボタンをクリックします。



→再生が終了します。

📎一時停止、巻き戻し、早送りするには📎

各操作ボタンをクリックします。再生したい箇所を頭出ししたいときなどに使用します。

[REW / SKIP BACK] ボタン 

: 再生中に1秒以上押し続けると巻き戻しが開始され、ボタンを離すと再生します。

[STOP] ボタン 

: 再生、巻き戻し、早送りを停止します。

[PAUSE] ボタン 

: 再生を一時停止します。

[FF / SKIP FORWARD] ボタン 

: 再生中に1秒以上押し続けると早送りが開始され、ボタンを離すと再生します。

📎再生位置を指定するには📎

つまみを動かして再生位置を指定できます。つまみを動かすと連動して、カウンターの値も変化します。カウンターの値を確認しながら、つまみを動かして再生位置を指定することもできます。

📎再生スピードを変更するには📎

スピードは-30%~+30%の間で5%単位で設定します。0%は教材オリジナルのスピードです。-30%に設定すると、1.3倍遅くなります。+30%に設定すると、1.3倍早くなります。先生からスピードコントロールされているときは、これらのボタンは操作できません。



[-] ボタン: クリックするたびに5%ずつ減少します。

[+] ボタン: クリックするたびに5%ずつ増加します。

📎注意📎

スピードを0%から変更した時、または0%に戻した時に、音声の処理方法が変わるため音が途切れますが、故障ではありません。

また、スピードを0%以外に変更した時、再生音声はモノラルになります。

教材を繰り返し再生する

教材の任意の区間を指定して、繰り返し再生します。

1. 繰り返して再生したい部分を頭出しします。

[PLAY] ボタンをクリックし、つまみを使って再生位置を指定するか、早送りします。



2. [PRL] ボタンをクリックします。



→ [PRL] ボタンが点滅表示します。繰り返し再生したい部分の先頭が指定されます。教材の再生は継続します。

3. 繰り返し再生したい部分の終わりにきたら、再度 [PRL] ボタンをクリックします。



→ [PRL] ボタンがONになります。繰り返し再生したい部分の終わりが指定され、繰り返し再生が自動的に開始されます。

4. 繰り返し再生を終了したいときは [PRL] ボタン、または [STOP] ボタンをクリックします。



→ [PRL] ボタンが元の表示に戻ります。繰り返し再生（再生）が終了します。

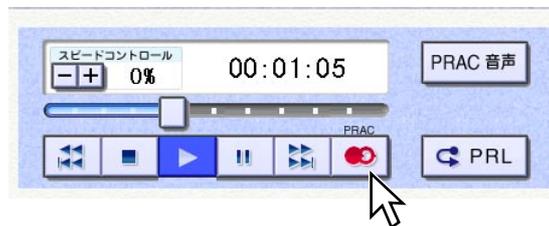
録音教材に重ねて自分の声を録音し、比較学習する

録音教材に重ねて自分の声を録音します。英会話のレッスンなど、教材の音声と自分の音声を比較して学習するときなどに便利な機能です。

1. 録音教材を選択し、自分の声を重ねて録音したい部分を頭出しします。

[PLAY] ボタンをクリックし、つまみを使って再生位置を指定するか、早送りします。

2. [PRAC] ボタンをクリックします。



→自分の声を録音できる状態になります。マイクに向かって話をします。

3. 録音を終了するには [STOP] ボタンをクリックします。



→録音が終了、[PRAC音声] ボタンが自動的にONになります。
録音教材と自分の声の両方が再生できるようになります。

4. [PLAY] ボタンをクリックします。



→教材の音声と自分の声が重なって再生されます。

5. 再生を終了するときには [STOP] ボタンをクリックします。



→再生が終了します。

📎教材の音声のみ聞きたいときは📎

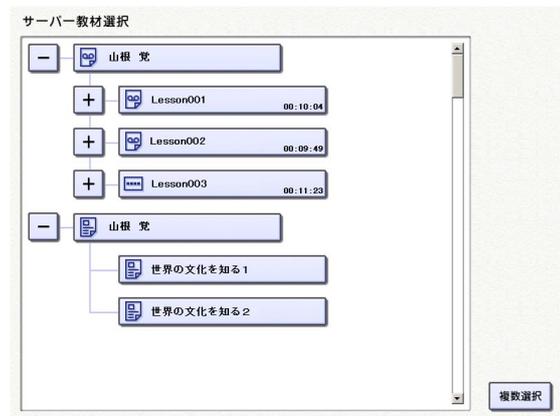
オリジナルの教材の音声のみ再生したいときは、[STOP] ボタンをクリックして、いったん再生を停止します。そのあと [PRAC音声] ボタンをクリックしてOFFにし、再度 [PLAY] ボタンをクリックします。

オンデマンド学習（自習）を行う

サーバー教材を使ってオンデマンド学習（自習）します。サーバー音声教材を録音して、自分の声を重ねて録音したり、繰り返し再生したり、WBT型教材を使って問題演習などを行うことができます。

サーバー音声教材、アナライザー教材を選択し再生する

1. 先生から教材が開放されると、[サーバー] ボタンがONになり、サーバー教材選択パネルが表示されます。
2. 教材を選択します。サーバー音声教材には 、アナライザー教材には  のアイコンが表示されます。



- 先生から開放された教材が表示されます。サーバー音声教材、アナライザー教材は、フォルダー→レッスン→センテンスで構成されています。

サーバー音声教材のアイコン  が表示されたフォルダーの左にある [+] ボタンをクリックすると、そのフォルダー内のレッスンが表示されます。レッスンを選択したい場合は、レッスンをクリックします。

- レッソンの左にある [+] ボタンをクリックすると、そのレッスン内のセンテンスが表示されます。センテンスを選択したい場合は、センテンスをクリックします。

複数のセンテンスを選択したいとき

最大10個までの複数のセンテンスを選択できます。サーバー教材選択パネルで [複数選択] ボタンをクリックしてから、教材を選択します。

📎 **サーバー教材選択パネルを消したいとき** 📎

STRパネルの [サーバー] ボタンをクリックして、OFFにすると、サーバー教材選択パネルを閉じることができます。再度、表示するには、もう一度 [サーバー] ボタンをクリックします。

3. [PLAY] ボタンをクリックして、再生します。



→再生が開始します。

4. 再生を終了するときには [STOP] ボタンをクリックします。



→再生が終了します。

📎 **一時停止、巻き戻し、早送りするには** 📎

各操作ボタンをクリックします。再生したい個所を頭出ししたいときなどに使用します。

[REW / SKIP BACK] ボタン 

: 短く（1秒以内）押すと、同じ教材の先頭に戻ります。再生中に1秒以上押し続けると巻き戻しが開始され、ボタンを離すと再生します。複数の教材を選択しているときは、1回押すたびに前のセンテンスの先頭にスキップします。

[STOP] ボタン 

: 再生、巻き戻し、早送りを停止します。

[PAUSE] ボタン 

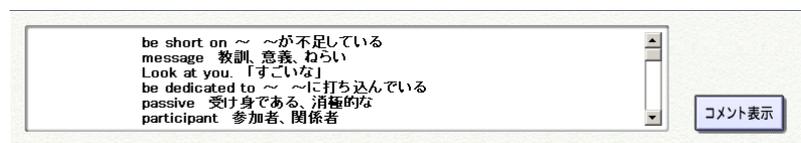
: 再生を一時停止します。

[FF / SKIP FORWARD] ボタン 

：再生中に1秒以上押し続けると早送りが開始され、ボタンを離すと再生します。
 複数の教材を選択しているときは、短く（1秒以内）1回押すたびに次のセンテ
 ンスの先頭にスキップします。

 **コメント付きサーバー音声教材、アナライザー教材を再生すると** 

コメント付きサーバー音声教材、アナライザー教材を再生すると、STRパネルの上
 にコメントの内容が表示されます。コメントを表示したくないときは [コメント表
 示] ボタンをクリックします。



 **アナライザー教材を再生すると** 

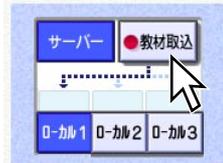
問題への回答時間が設定されているアナライザー教材を再生すると、回答時間の間
 は無音（ポーズ）となります。

[FF / SKIP FORWARD] ボタンをクリックすると、回答時間をスキップすることが
 できます。

サーバー音声教材、アナライザー教材を録音する

サーバー音声教材、アナライザー教材を選択し、録音して学習者パソコンに取り込みます。録音時には、再生も同時に行われます。

1. サーバー音声教材、アナライザー教材を選択し、[教材取込] ボタンをクリックします。



→教材の再生と録音が始まります。録音される場所や録音時の動作については「教材を録音する」をお読みください。

2. 録音を途中で止めたい場合は、[STOP] ボタンをクリックします。



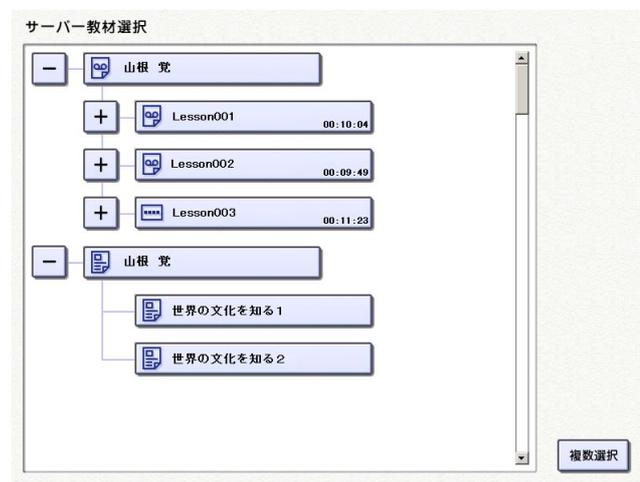
→録音と再生が終了します。

WBT型教材を使う

注意

WBT型教材を使うためには、Microsoft Internet Explorer（Ver 5.0以上）が、各学習者パソコンにインストールされている必要があります。

1. 先生から教材が開放されると、[サーバー] ボタンがONになり、サーバー教材選択パネルが表示されます。
2. 教材を選択します。WBT型教材には、のアイコンが表示されます。



- WBT型教材は、WBT型教材のアイコンが表示されたフォルダーの左にある [＋] ボタンをクリックすると一覧表示されます。サーバー音声教材やアナライザー教材のようなレッスン－センテンスの構造はありません。
- WBT型教材は、複数の教材を選択することはできません。

3. [PLAY] ボタンをクリックして、再生します。



→Internet Explorerが起動され、そのウィンドウに教材が表示されます。

4. 教材を操作します。

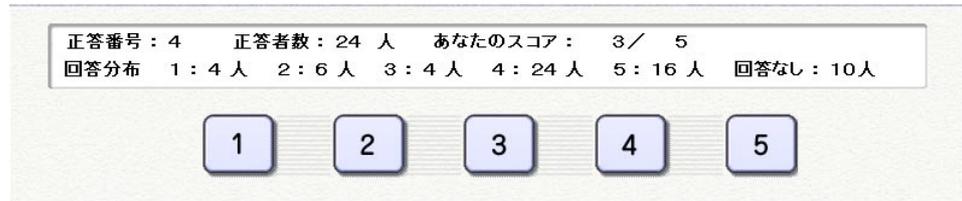
- 教材内に登録された音声を操作する時は、Internet Explorerのウィンドウ内に表示されたリモコンボタンを操作します。
- 教材の実行を終了する時は、リモコンボタンの右側にある [終了] ボタンをクリックします。

WBT型教材では、音声のリモコンボタンの他に、テキストの表示をON/OFFしたり、静止画を切り換える、テキストから音声を再生する、などの機能があります。各操作方法については、先生に確認してください。

アナライザーモード時の操作のしかた

アナライザーモードとは、先生が出題した問題に、学習者が回答し、その回答状況を先生が確認しながら授業を進めることができるモードです。

先生からアナライザーモードでの学習の指示がくると、回答パネルが表示されます。アナライザーモードでの学習の場合はこのパネルを使って操作します。



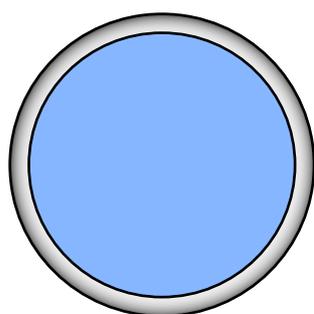
アナライザー結果表示欄

：正答の番号と正答者数、各回答の分布（人数）、学習者個人のスコアのうち、先生が設定したものが表示されます。

回答ボタン

：回答する場合にクリックします。回答受付中はクリックしたボタンがON状態になります。回答が締め切られると、クリックしてもボタンは変化しなくなります。次の問題に進むと、再びボタンをクリックできるようになります。

アナライザーモードが終了すると、回答パネルが閉じます。



付録

もくじ

トラブルシューティング	39
エラーメッセージ一覧	40

トラブルシューティング

ここでは、システム運用中に起こったトラブルの対処方法について説明します。トラブルが起こった場合、「確認していただく内容」欄に記載されている手順に従って対処し、再度操作して確認してみてください。
 対処してもトラブルが解消しないときは、先生に症状を報告してください。

症状	確認していただく内容
音声聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> ヘッドセットのプラグをきちんと差し込んでください。 スチューデントユニットのヘッドセット音量調節つまみ [PHONES] で音量を調節してください。
相手の声が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> スチューデントユニットのヘッドセット音量調節つまみ [PHONES] で音量を調節してください。 相手側のスチューデントユニットのマイク音量調節つまみ [MIC] で音量を調節してください。
録音した教材音声が聞こえない	他のローカルフォルダーに教材が録音されていないか、確認してください。
PRAC音声が聞こえない	スチューデントユニットのマイク音量調節つまみ [MIC] で音量を調節し、再度PRAC録音してください。
教材再生中に音切れする、ノイズが聞こえる	ヘッドセットのプラグをきちんと差し込んでください。
ヘッドセットからノイズが聞こえる	ヘッドセットのコードが、スチューデントユニット側面に固定されていることをご確認ください。それでもノイズが解消されない場合は、ヘッドセットのプラグ表面を清掃してください。
パソコンの画面に映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ディスプレイの電源が入っているか確認してください。 ケーブルがきちんと接続されているか確認してください。
ランチャーパネルでアプリケーションが起動しない	先生から操作ロックが設定されていないかどうか確認してください。

エラーメッセージ一覧

ここでは、システム運用中に表示されるエラーメッセージの対処方法について説明します。エラーメッセージが表示された場合、「説明・対処方法など」欄に記載されている手順に従って対処し、操作して確認してみてください。
対処してもエラーが解消しないときは、先生に症状を報告してください。

メッセージ内容	説明・対処方法など
出席登録が拒否されました。 先生からの指示を待ってください。	先生が認証エラー処理を行うまで、そのままでお待ちください。[電源OFF] ボタンをクリックすると、パソコンの電源がOFFになります。
プロセッサユニットとの通信中に、エラーが発生しました。 電源、ケーブルの接続を確認してください。	接続確認などが必要です。先生にメッセージの内容を通知してください。
オーディオサーバー／ファイル配信サーバーの接続中に、エラーが発生しました。サーバーの状態、LANの接続を確認してください。	サーバーの状態や、接続確認などが必要です。先生にメッセージの内容を通知してください。
デバイスが準備されていません	[OK] ボタンを押して、パネルを閉じてください。指定したドライブにフロッピーディスクやCD-ROMをセットしてから改めてドライブを指定してください。
起動できません。設定されている内容に誤りがあります。	[OK] ボタンを押して、パネルを閉じてください。設定の確認が必要です。先生にメッセージの内容を通知してください。
このファイルは開けません。 ファイルを開くアプリケーションを設定してください。	[OK] ボタンを押して、パネルを閉じてください。このファイルを開くときに通常使用するアプリケーションが起動できない状態です。別のアプリケーションを使って開くように設定してください。
選択されたWBT型教材の起動に失敗しました	[OK] ボタンを押して、パネルを閉じてください。WBT型教材に異常がある可能性があります。先生にメッセージの内容を通知してください。

索引

C

- [CD-ROMドライブフォルダー] ボタン 16
- [Cドライブフォルダー] ボタン 16

F

- [FDドライブフォルダー] ボタン 16
- [FF / SKIP FORWARD] ボタン
（オンデマンド学習する） 33
- [FF / SKIP FORWARD] ボタン（教材再生） 26

L

- L（再生トラック選択） 24

M

- MONO（再生トラック選択） 24
- MS-IMEツールバーを表示する 17
- MTR教材（用語解説） 5

P

- [PAUSE] ボタン（オンデマンド学習する） 32
- [PAUSE] ボタン（教材再生） 26
- [PLAY] ボタン（オンデマンド学習する） 32
- [PLAY] ボタン（教材再生） 25
- PRAC（用語解説） 6
- [PRAC] ボタン 29
- [PRAC音声] ボタン 29
- PRL（用語解説） 6
- [PRL] ボタン 27

R

- [REW / SKIP BACK] ボタン
（オンデマンド学習する） 32
- [REW / SKIP BACK] ボタン（教材再生） 26
- R（再生トラック選択） 24

S

- STEREO（再生トラック選択） 24
- [STOP] ボタン（オンデマンド学習する） 32
- [STOP] ボタン（教材再生） 26
- STRパネル（用語解説） 5

- STRパネルを表示する 12
- [STR] ボタン 12

W

- WBT型教材（用語解説） 5
- WBT型教材を使う 35
- Windows画面に移る 18

あ

- アナライザー教材（用語解説） 5
- アナライザーモード（操作のしかた） 37
- アナライザー教材を録音する 34
- エラーメッセージ 40
- オーディオサーバー（用語解説） 5
- オンデマンド学習する 31

か

- 回答パネル 37
- 学習者状態表示一覧 10
- 学習者パソコン（用語解説） 5
- [教材取込] ボタン（サーバー教材録音） 34
- 教材を聞く 21
- 教材を再生する 25
- 教材を録音する 21
- 繰り返し再生 27
- [ごみ箱フォルダー] ボタン 16

さ

- [サーバー] ボタン 31
- サーバー音声教材（用語解説） 5
- サーバー教材（用語解説） 5
- サーバー教材選択パネル
（オンデマンド学習する） 31
- サーバー音声教材を録音する 34
- 再生位置 26
- 再生スピード 26
- 再生トラックを選択する 24
- サブモニター（用語解説） 5
- 状態表示 10
- 商品概要 4
- スチューデントユニット（用語解説） 5
- 制御パソコン（用語解説） 5
- 先生パソコン（用語解説） 5

た

[トラック選択] ボタン	24
トラブルシューティング	39

は

比較学習する	29
ファイル配信サーバー（用語解説）	5
フォルダーボタン	16
プロセッサユニット（用語解説）	5
補助制御パソコン（用語解説）	5
本書について	5

ら

ランチャーパネル（起動する）	8
ランチャーパネルの使いかた	12
レポートフォルダー	13
レポートフォルダーを表示する	13
[レポート] ボタン	13
録音教材を選択する	23
ローカルフォルダーボタン	23

松下電器産業株式会社

AV&セキュリティビジネスユニット

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号 電話 フリーダイヤル 0120-878-410